

四郎とよばれた少年は、立ちあがって他の子どもたちをうながします。

「じゃ、四郎さんは、イクグン（陸軍）大将になるのは、やめたのかい。」

「いや、やめやしないよ。おれは大きくなって、イクグン大将になるんだ。」

四郎は、心の中でおじいさんとかわした約束を思い出していました。

ニカ月ぐらい前に、いつものようにけんかをして、どろだらけになって帰ってきた四郎は、夜になって、おじいさんによばれました。また、しかられるだろうと、小さくなってすわった四郎にむかって

「四郎、イクグン大将になるには、けんかに強いだけではだめなんだぞ。強いイクグン大将というのは、相手に対して強いというより、自分に対して強いということなんだ。弱い自分をおさえて、自分にかつ——四郎には、まだわからないかな。自分の心をおさえて、りっぱな、強い自分をつくることなんだ。わかるかな。」